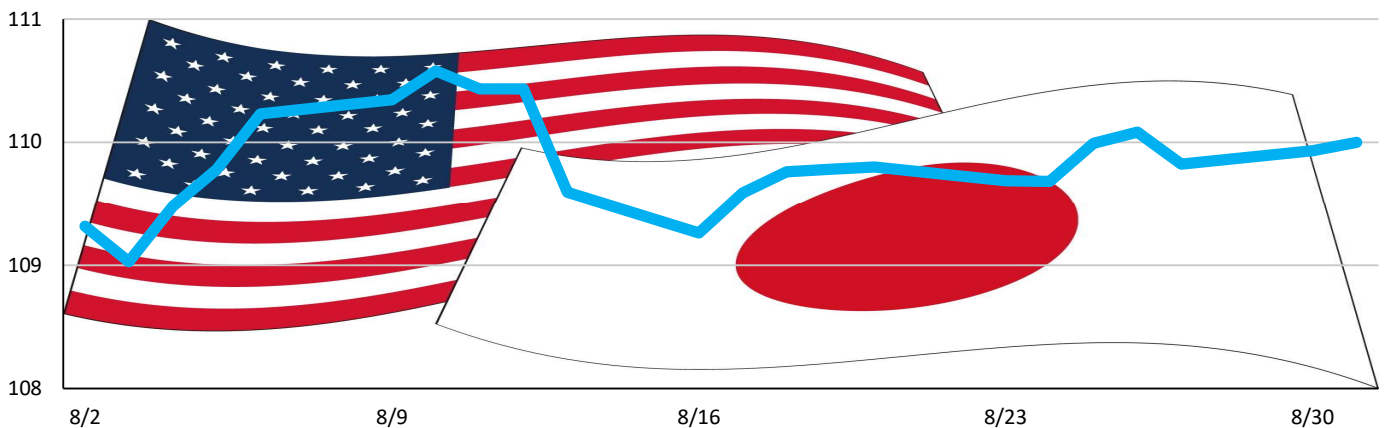


MARKET REVIEW

先月の振り返り：8月のドル円相場は109円前半～110円後半で推移。7月末から続いたドル安も、クラリダFRB副議長のタカ派発言や良好な経済指標発表を受けて反転し、110円後半までドル高が進行。ただ中旬に発表された経済指標が軒並み市場予想を下回ったことでドル売り優勢となり、109円前半まで円高ドル安が進行した。その後は9月のFOMCでテーパリング開始決定の可能性が高まったことでドルは買い戻され110円台を回復する場面も見られたが、月末のパウエルFRB議長の議会講演を控えて110円を挟んだ展開。パウエルFRB議長の講演で利上げ観測が後退し109円半ばとなったものの実需の買いが入るなどしてドル安は長続きせず、109円後半での持ち合い相場だった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：米国の金融政策に注目が集まっており、今後の利上げ時期をめぐる売り買いが交錯している。9月のFOMCでは金利据え置きとみられているが、今後の利上げ時期を予想する上でもFOMC終了後のパウエルFRB議長の発言に注目したい。新型コロナ感染拡大のニュースにマーケットの反応は限定的だが、新たな新型コロナ変異株情報が出てきており、現在流行しているデルタ変異株と比べて感染力やワクチン耐性次第ではマーケットも反応してくるだろう。またアフガニスタン問題に関して今後の地政学リスク要因になりうるため、突発的な動きに対応できるようにしておきたいところだ。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
9 / 16 (木)	21 : 30	US	小売売上高	☆☆☆☆
9 / 22 (水)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆
9 / 23 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
9 / 23 (木)	20 : 00	GB	英中銀政策金利	☆☆☆☆
9 / 30 (木)	21 : 30	US	米GDP確定値	☆☆☆☆
10 / 8 (金)	21 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
10 / 13 (水)	21 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆

本書面は、合同会社フィナンシャルヴィレッジプレゼンス(以下「当社」)が、投資一般に関する情報提供を目的とするものであり、投資の勧誘を目的としたものではありません。本書面に記載されている情報には将来的な業績や出来事に関する予想が含まれていますが、それらの記述はあくまで予想であり、その内容の正確性、信頼性等を保証するものではありません。また、情報の正確性については万全を期しておりますが、その正確性、信頼性等を保証するものではありません。投資に関するすべての決定は、ご自身の判断でなされるようお願い致します。本書面に記載されている情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。